

製品安全データシート

製造者情報	会社名	サンケイ化学株式会社		
	住所	東京都台東区東上野 6-2-1		
	担当部門	開発部		
	電話番号	(03)3845-7951	F A X 番号	(03)3845-7950
	緊急連絡先	同上		
	改訂年月日	2004年2月4日		

整理番号 B - 2 4

製品名 (化学名、商品名等) サンケイ ベフラン液剤 2 5

物質の特定	単一製品・混合製品の区別：混合製品		
	化学名及び含有量		
	有効成分	1,1'-イミノジ(オクタフルンジ)ゲアジニウム=トリアタート(iminoctadine)	25.0%
	その他成分	界面活性剤、水 等	75.0%
	化学式又は構造式：イミノクジン酢酸塩：C ₂₄ H ₅₆ N ₇ O ₆		
	官報公示整理番号		
	化審法	：2-1781 (イミノクジン酢酸塩)	
	安衛法	：整理番号なし	
	C A S No.	：57520-17-9	
	国連分類	：危険物に該当せず	
	国連番号	：なし	

危険有害性の分類	分類の名称：急性毒性物質
	危険性：別項目参照
	有害性：別項目参照
	環境影響：別項目参照

応急措置	眼に入った場合	：直ちに多量の清浄水で15分以上洗眼した後、眼科医の手当を受けること。
	皮膚に付着した場合	：直ちに石けんで良く洗い落とすこと。 作業後は衣服等を交換し、着用していた衣服は他の物と分けて洗濯すること。
	吸入した場合	：直ちに空気の新鮮な場所に移動し、身体を毛布等で覆い保温し安静に努め、異常が続く場合は速やかに医師の手当を受けること。
	飲み込んだ場合	：水でよく口の中を洗浄する。無理に吐き出させないで、直ちに医師の手当を受けさせること。

火災時の措置	消火方法：速やかに火元への燃焼源を断ち、消火剤を用いて消火する。 容器及び周辺に散水して冷却する。消火作業は風上から行う。
	消火剤：泡、粉末、二酸化炭素

漏出時の措置	漏出液はオガクズ、土砂等の吸湿剤で直ちに吸着させ掃き集めて、密封できる空容器に回収する。回収時には保護具を着用する。 回収した物は下記の「保管上の注意」及び「廃棄上の注意」に従って処理する。また漏出液が河川、養殖池等に流れ込まないように注意すること。
--------	--

取扱い及び保管上の注意	取扱い：ラベルをよく読む。記載以外に使用しない。小児の手の届く所へ置かない。 吸い込んだり目や皮膚に触れないよう、保護マスク、保護手袋、長袖・長ズボンの作業着を着用して取り扱うこと。作業後はただちに手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼、うがい等をするともに衣服を交換すること。かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意すること。高温、火気の近くで取り扱ってはならない。
	保管：食物、飲料等と区別し、火気、直射日光を避け、鍵のかかるなるべく低温で乾燥した場所に密栓して保管すること。

暴露防止措置	管理濃度：
	許容濃度 日本産業衛生学会 (年度版)：
	ACGIH (年度版)：
	設備対策：
	保護具 呼吸用保護具：防護マスク着用
	保護眼鏡：着用
	保護手袋：不浸透性手袋着用
	保護衣：不浸透性防除衣、ゴム長靴着用

物理 / 化学的性質	外観等	：淡黄色澄明水溶性液体		臭気	：弱い酢酸臭性質	
	沸点	：該当せず（イミノクタジン酢酸塩）		揮発性	：なし	
	蒸気圧 ¹⁾	： 3.98×10^{-4} Pa以下（23℃） = 2.99×10^{-6} mmHg以下（23℃）				
	融点 ²⁾	：143～144（イミノクタジン酢酸塩）		比重 ³⁾	：1.03～1.05（20℃）	
	溶解度 ⁴⁾	：25℃における溶媒1ℓに対するイミノクタジン酢酸塩の溶解量(g)				
		水	764 g/ℓ	n-ブタノール	0.49 g/ℓ	
		メタノール	777	クロロホルム	0.32	
		エタノール	117	酢酸エチル	0.02	
		イソプロパノール	13.3	アセトン	0.01	
		n-ヘキサン、ベンゼン、THF及びDMFに不溶。				
	粘度 ⁵⁾	：12.0mPa・s(25℃)				

危険性情報 引火点：データなし
(安定性・反応性)

有害性情報（人についての症例、疫学的情報を含む）

皮膚腐食性：
急性毒性⁶⁾：経口ラットLD₅₀ 980mg/kg、1050mg/kg
マウスLD₅₀ 1310mg/kg、950mg/kg
経皮ラットLD₅₀ >2000mg/kg
刺激性⁷⁾：眼...強い刺激性あり
ウサギの眼に角膜の汚濁、虹彩の充血、結膜の発赤等の刺激性を示した。その後は回復傾向が見られた。適用後に洗浄した場合は、刺激性は軽度であった。
また、100倍～300倍希釈液では適用10日目までに軽度の充血や分泌物が見られる程度であり、1000倍希釈液では刺激性は見られなかった。
皮膚...刺激性あり
ウサギの皮膚に対して軽度の刺激性が見られ、経時的に強まる傾向にあるが、徐々に回復の傾向が見られた。
感作性⁸⁾：（含有率40%の水溶液を使用）
モルモットを用いた試験で陰性であった。
変異原性⁹⁾：（純度98.6% <復帰変異原性試験>、99.7% <DNA修復試験>、97.9% <染色体異常試験> 及び98.6% <小核試験> の標準試料を使用）
サルモネラ菌を用いた復帰変異原性試験及び枯草菌を用いたDNA修復試験は陰性であった。染色体異常試験（CHL細胞）では薬物代謝酵素系（S9-mix）非存在下では陰性であった。薬物代謝酵素系の存在下では弱い陽性であったため、マウスにおける小核試験を実施した結果、陰性であった。総合的に変異原性は陰性と判断される。

環境影響情報 魚毒性：分類 A類相当（原体）
水生生物毒性¹⁰⁾：コイ 48時間TLm値 28ppm
ミジンコ 3時間TLm値 100ppm以上

廃棄上の注意 使用残りの農薬を不注意に廃棄したり、不要になった農薬を放置したりすると思わぬ事故を引き起こすことがあるので、その処理に当たっては関係法令を遵守して適正な処理を行うこと。
また、空容器、空袋等の処理は、関係法令を遵守し、廃棄物処理業者に処理を委託する等により適切に行うこと。

輸送上の注意 荷役作業は丁寧に行い、転倒、転落、引きずり等による衝撃をさけ、破損させない。法（消防法、危険則等）の運搬基準（容器、積載方法、運搬方法）に従う。
車両、船舶にはゴム手袋、保護メガネ、保護マスク等の保護具を備え、異常時の処置に必要な消火器、工具等も備えておく。

適用法令 農薬取締法 毒物及び劇物取締法（医薬用外劇物）

その他 1)～10) は大日本インキ化学工業株式会社の試験データによる。

この製品安全データシートは現時点で入手可能な資料等をもとに作成しておりますが、物理化学的性質、危険有害性等に関しては、いかなる保証も成すものではありません。また注意事項は、通常の取り扱いを対象としたものであって、特殊な取り扱いを行なう場合には自らの責任において用途に適した処置を講ずることが必要であることを理解した上で活用して下さい。

農薬登録番号：15650号